

## 日常点検項目10ポイント (チェックリスト)

1	周囲に引火性のある燃料などの危険物や可燃物がありますか。	<input type="checkbox"/>
2	障害物から1m以上離れていますか。排気ガスが出る方向が、通行人や民家などに向いていませんか。	<input type="checkbox"/>
3	傾斜のない水平な場所に設置していますか。車輪が付いている場合は、車輪止めをしていますか。	<input type="checkbox"/>
4	燃料は漏れてはいませんか。	<input type="checkbox"/>
5	エンジンオイルは適正量入っていますか。また、汚れていませんか。オイル漏れしていませんか。	<input type="checkbox"/>
6	水冷式エンジンの場合、冷却水はサブタンク上限まで入っていますか。冷却水は漏れていませんか。	<input type="checkbox"/>
7	オイルガード付の場合、オイルガード内に液体は溜まっていますか。	<input type="checkbox"/>
8	セル始動式の場合、バッテリー液量は適正量入っていますか。(シールドタイプは除く)	<input type="checkbox"/>
9	ボルト、ナットの緩みはありませんか。エンジンを始動して異常な騒音や振動がありませんか。	<input type="checkbox"/>
10	負荷ケーブルは、出力端子に確実に接続されていますか。	<input type="checkbox"/>

※安全と快適作業の為にやまびこ純正部品・アクセサリをご使用ください

## 発電機の正しい使い方

**安 全 読 本**

快適作業のお役立ち



**YAMABIKO**

**YAMABIKO**  
株式会社やまびこ

URL <http://www.yamabiko-corp.co.jp/>

国内販売会社

やまびこジャパン株式会社  
〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2  
URL <https://yamabiko-japan.co.jp/>

拠点情報は  
こちら ▶



## 1 必ず取扱説明書を読みましょう。



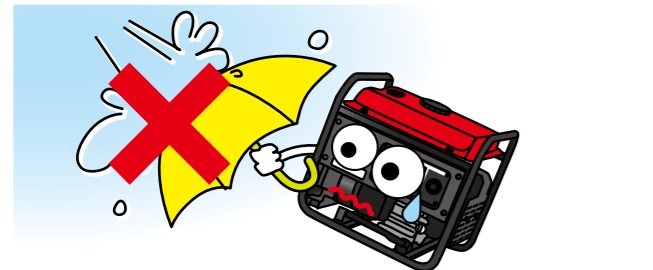
ご使用前に、製品に付属の取扱説明書をよく読んで十分に理解してから運転操作をしてください。

## 3 労働安全衛生法などの法律、規則を守ってください。



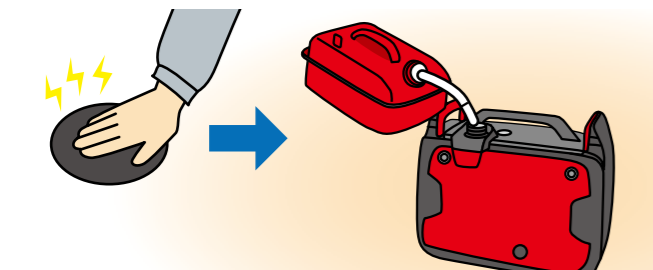
本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、労働安全衛生法、電気事業法等関連する法律およびその法律に基づく規則を守ってください。

## 5 雨中では使用はしないでください。



感電する恐れがありますので、本機に水をかけたり、雨中では使用しないでください。運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。

## 7 燃料給油は、静電気を除去して行ってください。



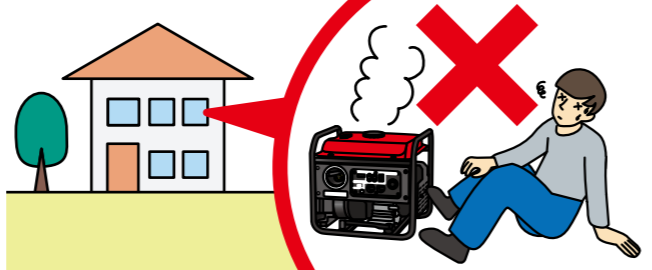
燃料の点検や給油・抜き取り・燃料ストレーナーの清掃などを行うときは静電気を除去して、必ずエンジンを停止し絶対に火気を近づけないでください。

## 2 こんな時は運転操作しないでください。



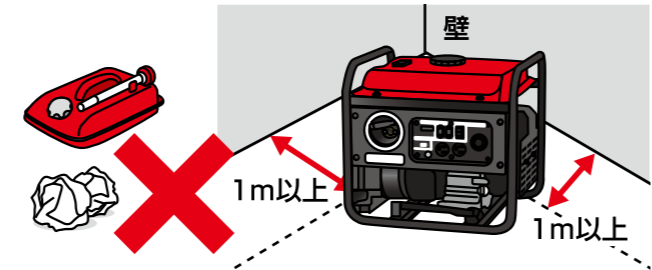
病気・過労・体調の悪い時や妊娠中の場合、また、お酒や身体に影響を及ぼす薬を飲んだ時は運転操作をしないでください。

## 4 換気の悪い場所では、運転しないでください。



エンジンの排気ガス中には、人体に有害な一酸化炭素が含まれていますので、室内・トンネル・くぼ地などの換気の悪い所では運転しないでください。

## 6 壁などの障害物から1m以上離してください。



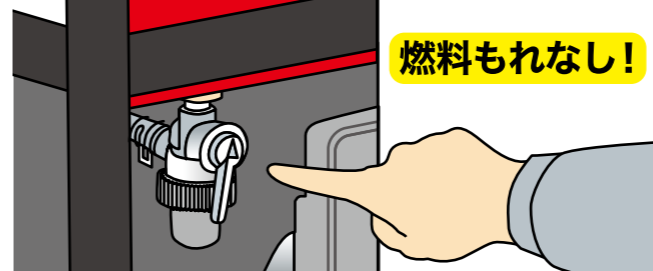
火災防止のため、壁などの障害物から1m以上離し、水平な場所で運転してください。引火性のある燃料や可燃物などは、本機に近づけないでください。

## 8 燃料給油はエンジンを停止し冷えてから行ってください。



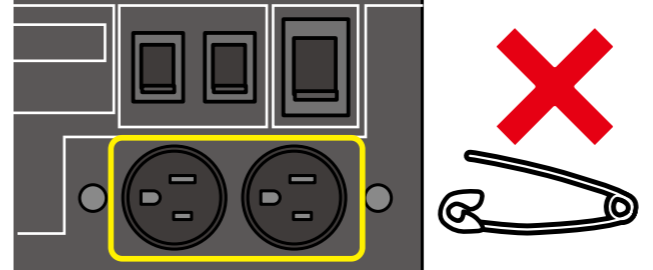
火災防止のため、燃料は、所定のレベル（燃料タンク給油口こし網の赤リング上面）以上給油せず、また、燃料をこぼしたときは、必ずふき取ってください。

## 9 燃料がもれないことを確認してください。



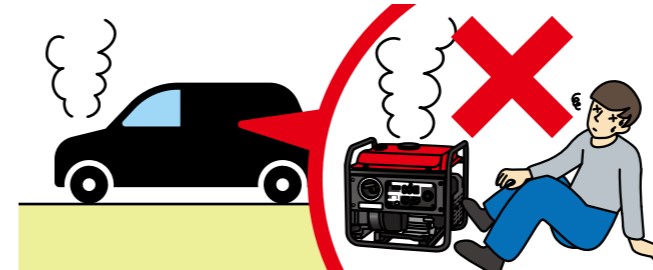
火災防止のため、エンジン始動前に、燃料配管や燃料ストレーナなどから燃料がもれないことを確認してください。

## 11 コンセントに針金などの金属物を入れないでください。



感電防止のため、出力コンセントや発電機の開口部に、ピンや針金などの金属物を入れないでください。

## 13 車両に積載して運転しないでください。



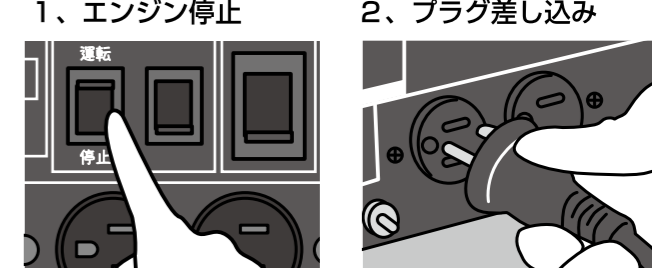
車両に積載したまま運転されると、排気ガスが充満したり、排気の熱で車両を損傷させたりする事故につながることがあります。

## 15 運搬するときは、燃料タンクから燃料を抜いてください。



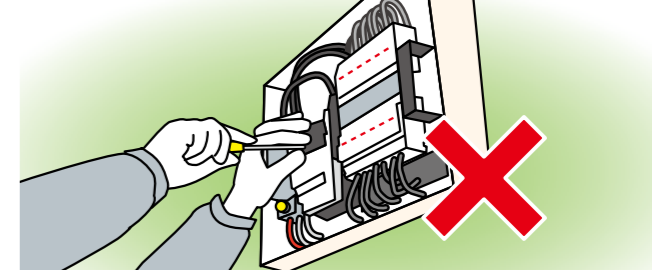
火災防止のため、燃料タンクから燃料を抜き、抜いた燃料や予備の燃料は、消防法に適合した携行タンクで保管・運搬してください。

## 10 使用機器はエンジンを停止して取り付けてください。



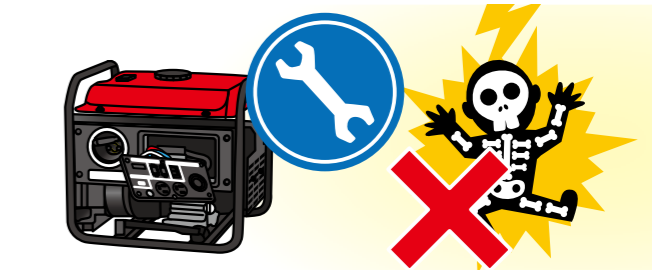
コンセントまたは交流出力端子への使用機器の取り付けや取り外しは、エンジンを停止または出力スイッチを必ず「OFF」にして行ってください。

## 12 屋内配線に接続しないでください。



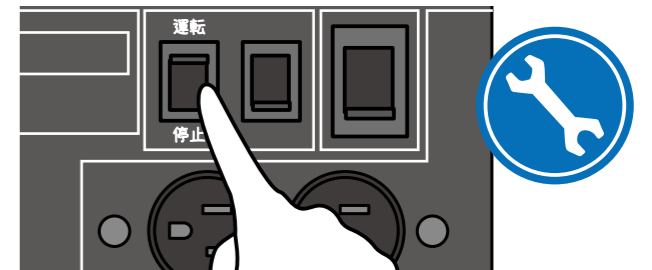
電気会社の屋内・電気配線への接続は法律で禁止されています。使用機器、発動機の故障や、火災、感電事故を発生させることがあります。

## 14 運転中は、内部の配線や電気部品に触れないでください。



運転中は、配線や電気部品に電圧が発生しており、触れると感電する恐れがあります。また、機器の損傷させることがあります。

## 16 点検・整備時は、必ずエンジンを停止してください。



感電や回転部の挟まれ、やけど防止のため、エンジンを停止させ、またエンジンが冷えてから点検・整備を行ってください。